

Styling Kit KM-07

サイドアンダースポイラー No.KMA1 V4 910

取付・取扱説明書

AutoExe

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ“スタイリングキット KM-07”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。

常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付を行ってください。

適合車種

CX-5 (KM系)

ご注意とお願い

●本説明書に示されている △ 警告マークと △ 注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。

⚠ 警告： 警告事項を守らないと生命の危険、または重大な障害につながる恐れがあります。

⚠ 注意： 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどの恐れがあります。

●本説明書で締付けトルクを記載している部位は、トルクレンチを使用して規定トルクで締付け作業を行ってください。尚、締付けトルク値に()がついている場合は、参考値であり、トルクレンチでの締付けは必修ではありません。

●本説明書に記載されていない取付け、使用方法は絶対に行わないでください。

●本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。

●作業の安全性と信頼性確保のため、取付け・取り外しの作業は、必ずマツダ販売店・自動車整備事業者にて実施してください。

●本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。

●記載事項をまもらなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●取り外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

取付け販売店の方へ

取付け完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

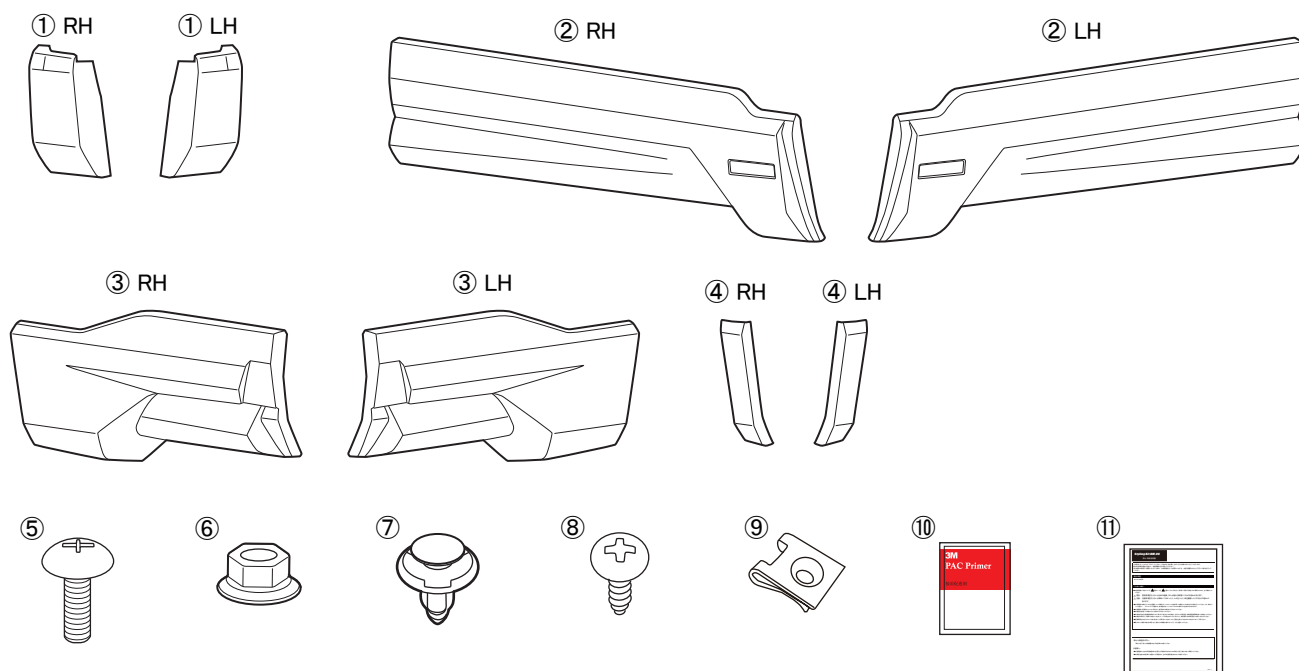
お客様へ

●本説明書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管してください。

●本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本説明書もあわせてお渡しください。

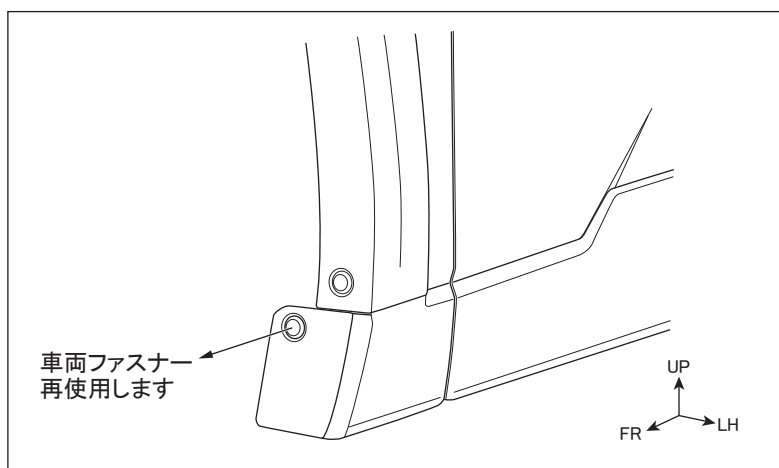
1. 構成部品

No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
①	FRフェンダーピース	RH/LH	各1	⑦	ファスナー		2
②	FRドアピース	RH/LH	各1	⑧	タッピングスクリュー	5 × 15	2
③	RRドアピース	RH/LH	各1	⑨	スピードナット	5mm用	2
④	RRフェンダーピース	RH/LH	各1	⑩	PACプライマー	3M製	1
⑤	トラスボルト	M5 × 15	8	⑪	取付／取扱説明書	本書	1
⑥	フランジナット	M5	8				



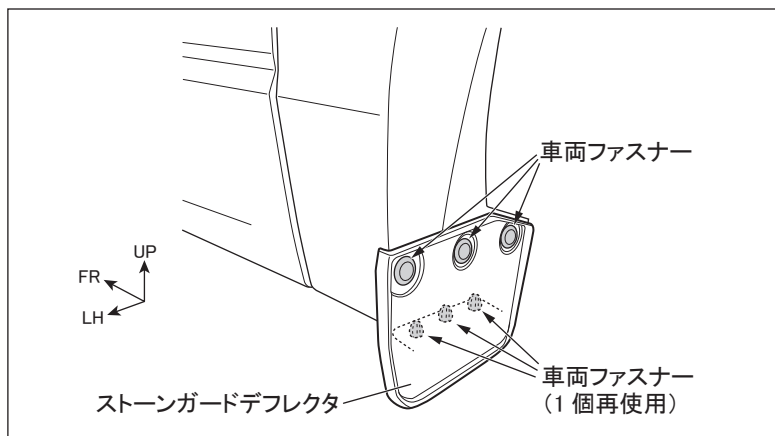
2. サイドアンダースポイラーの取り付け

本書は車両左側で記載しています。反対側（右側）も同様に作業してください。



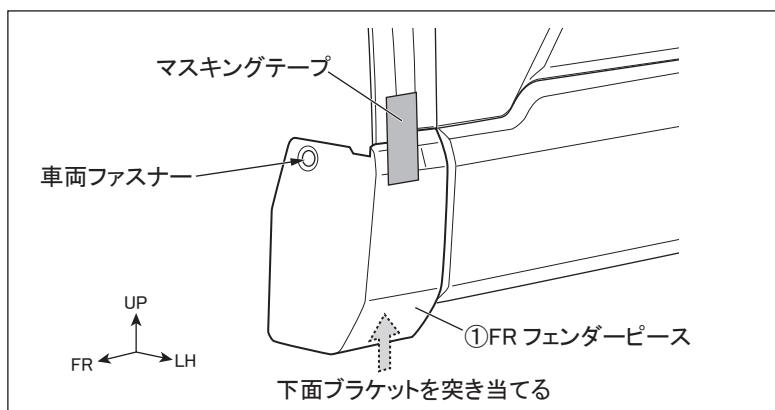
1. フロントホイールハウス折り返し部の車両ファスナーを取り外します。（左右各1ヶ所）

取り外した車両ファスナーは再使用する為、紛失や破損に注意してください。

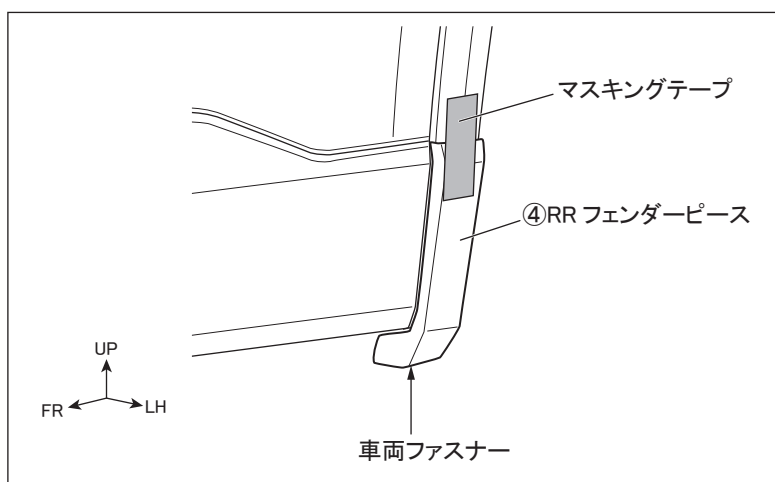


2. サイドシル後方のストーンガードデフレクタを取り外します。(左右各 1 ヶ所)

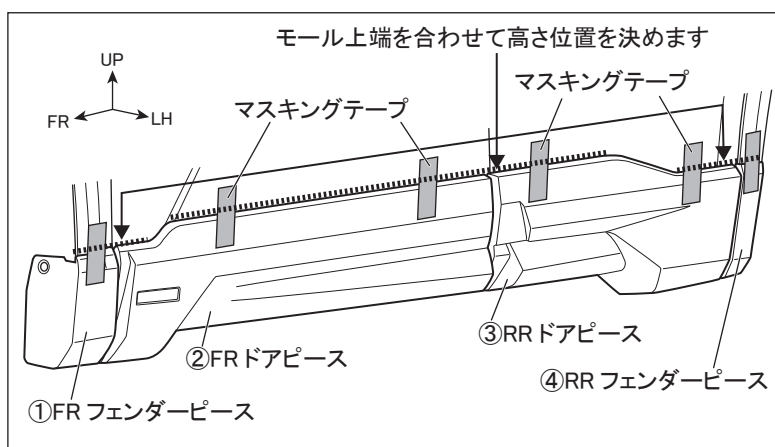
取り外したストーンガードデフレクタは再使用しません。取り外した車両ファスナー左右各 6 個のうち、1 個は本製品取り付けに再使用します。紛失や破損に注意してください。



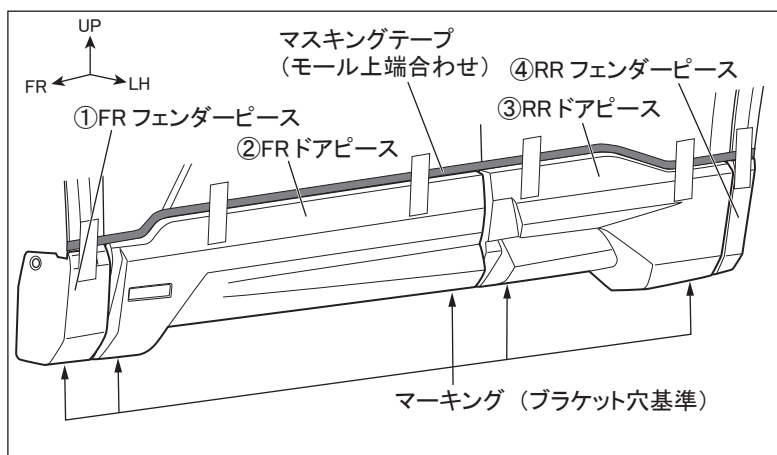
3. ①FR フェンダーピースを車両に仮当てし、ホイールハウス折り返し部を車両ファスナーで固定し、マスキングテープ等で仮固定します。



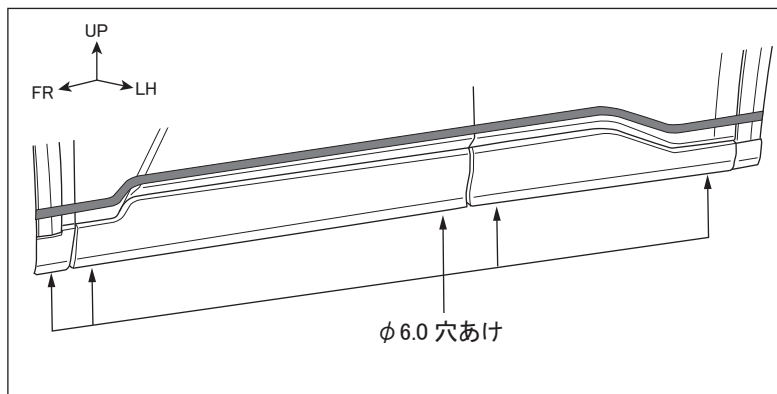
4. ④RR フェンダーピースを車両に仮当てし、下面ブラケット部を車両ファスナーで固定し、マスキングテープ等で仮固定します。



5. ②FR ドアピース、③RR ドアピースを車両に仮あてし、①FR フェンダーピース、④RR フェンダーピースのモール上端に高さを合わせてマスキングテープ等で仮固定します。

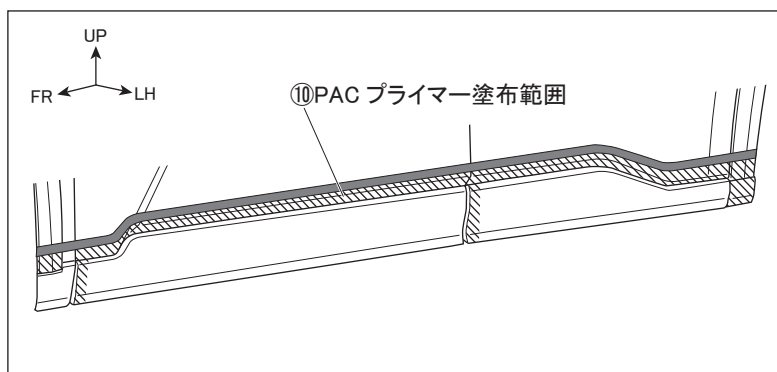
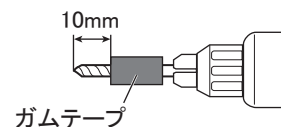


6. ①②③④各ピースのモール上端に合わせて車両側面にマスキングテープを貼り付けます。
7. ①②③④各ピース下面のブラケット部穴位置に合わせて車両サイド下面に穴あけ位置をマーキングします。(左右各 5ヶ所)
8. ①②③④各ピースを取り外します。



9. 車両サイド下面のマーキング位置にφ6 (φ3→φ6) の穴をあけます。
穴あけ後、加工穴周囲のバリを除去します。
(左右各 5ヶ所)

ドリルの刃にガムテープを巻き付け、突き抜け防止策を施してください。



10. 車両側面の左図斜線部を洗浄脱脂し、⑩PAC プライマーを塗布します。

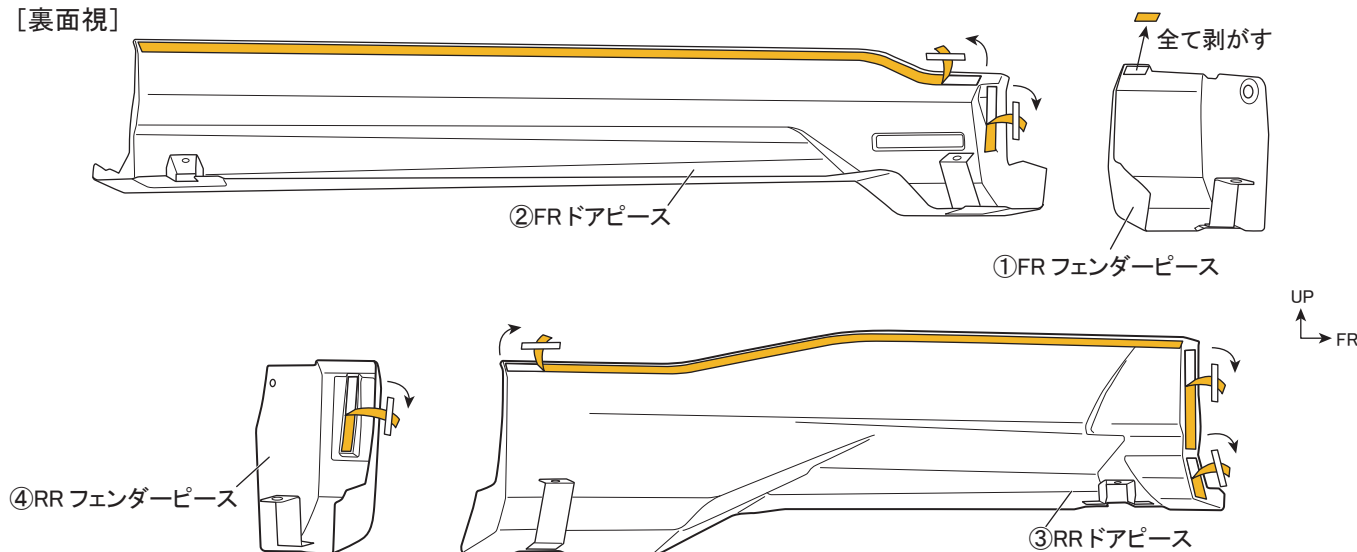
⚠ 注意

ボディーコート処理されている車両は、両面テープ貼付け部を塗装用コンパウンドで除去してください。

PAC プライマーを塗布した際にはみ出した部分は、速やかに拭き取ってください。また、塗布後は常温で 10 分以上放置し乾燥させてください。

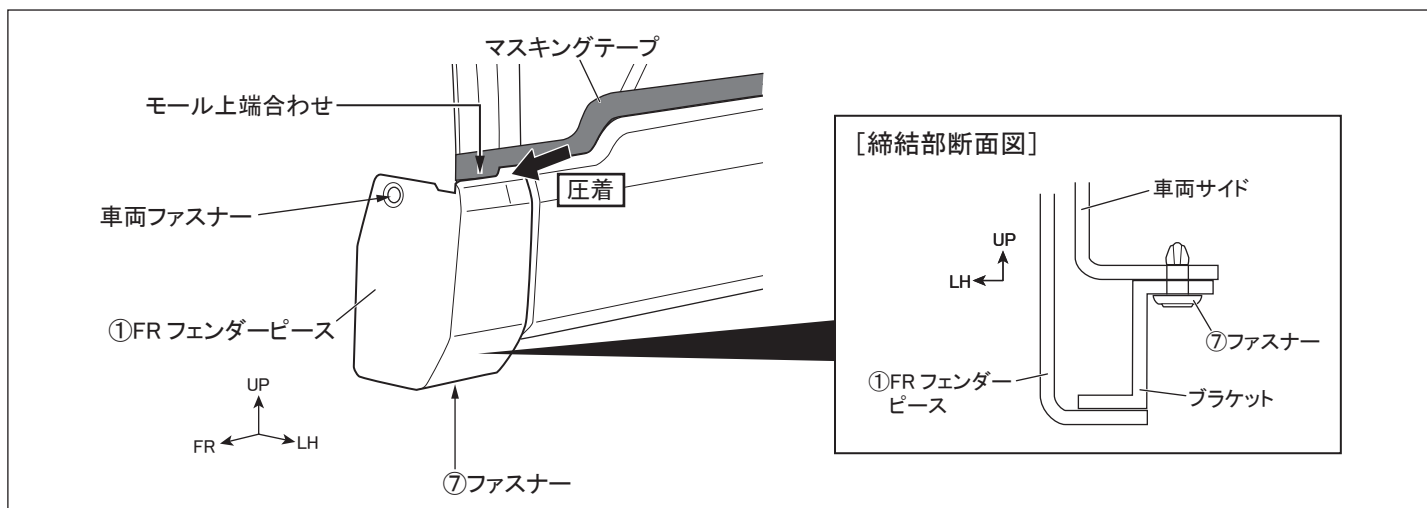
11. ①②③④各ピース裏側の両面テープ離型紙を30mm程度剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで固定します。

[裏面視]

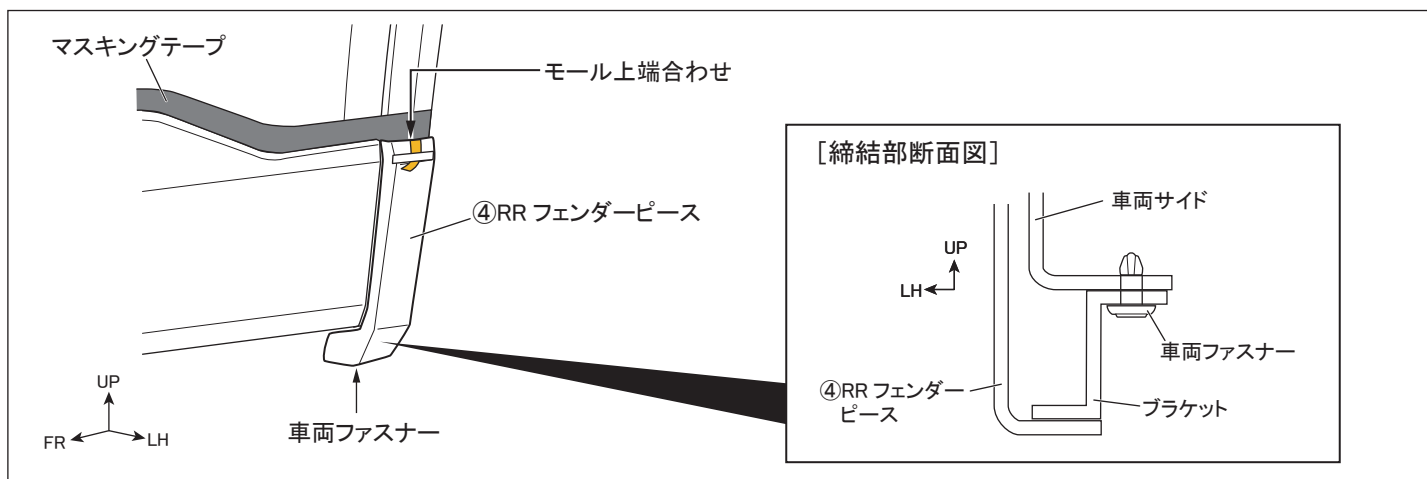


接着力を向上させる為、両面テープの貼り付け時には、作業環境が 15℃以上の状態で行ってください。
温度が低い時は、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行ってください。

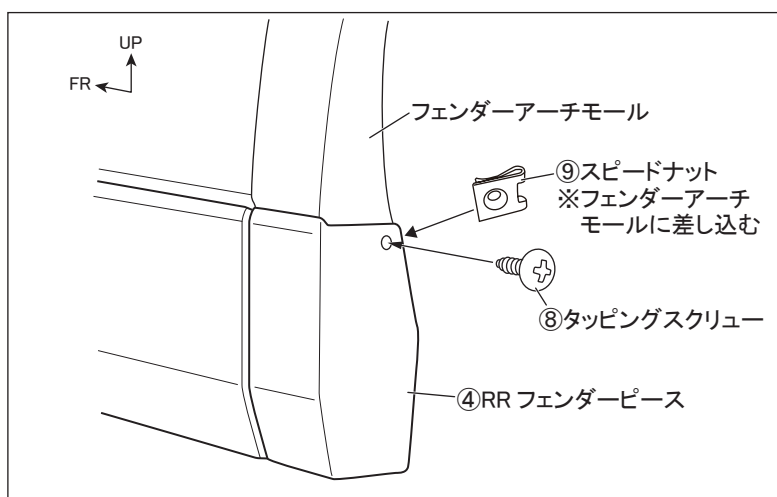
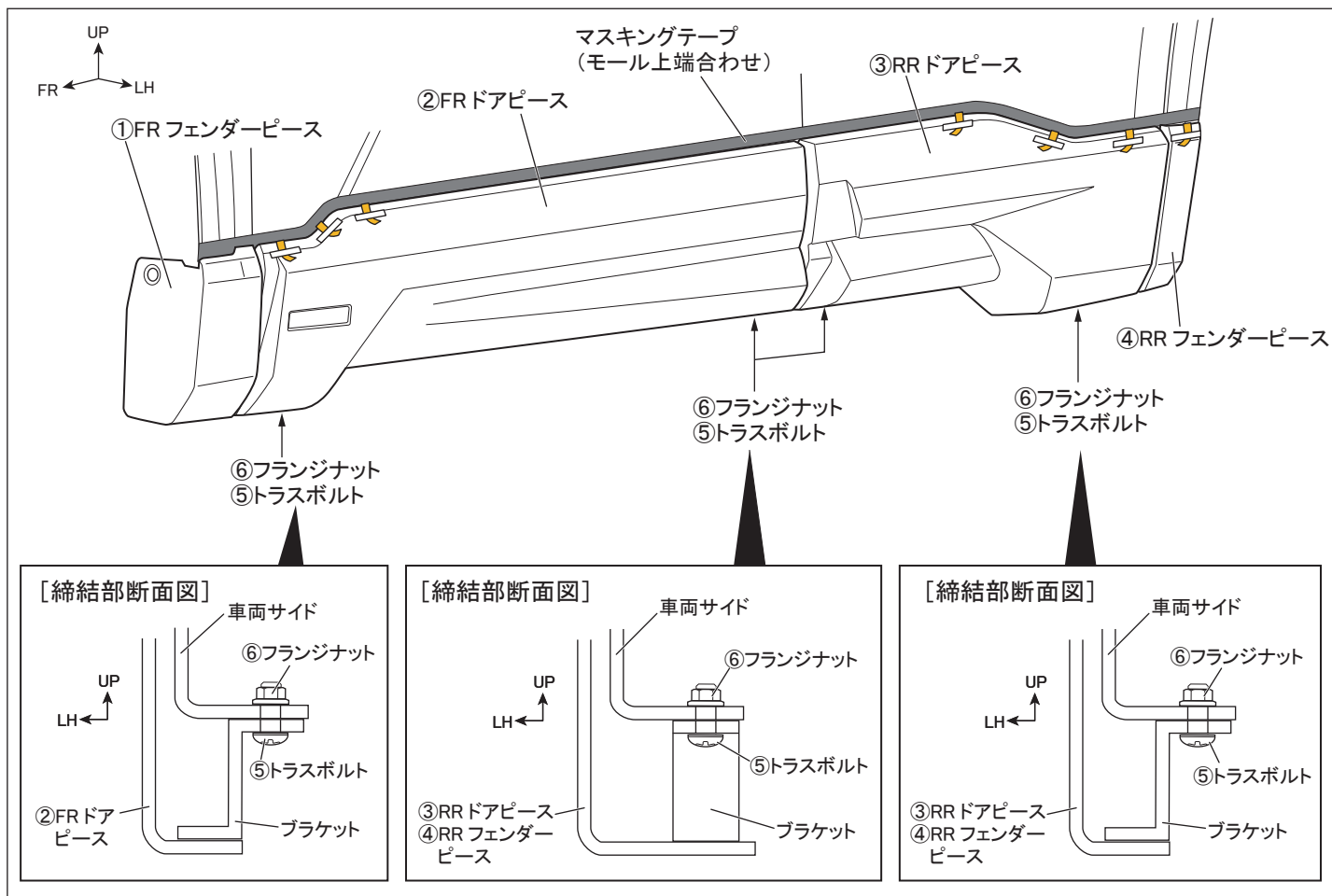
12. ①FR フェンダーピースのモール上端をマスキングテープ下端に合わせて車両に仮当てし、ホイールハウス折り返し部を車両ファスナーで固定し、下面ブラケット部を⑦ファスナーで固定して両面テープ部を圧着します。



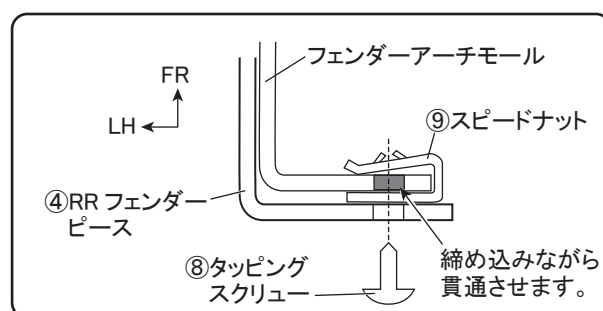
13. ④RR フェンダーピースのモール上端をマスキングテープ下端に合わせて車両に仮当てし、下面ブラケット部を車両ファスナーで固定します。



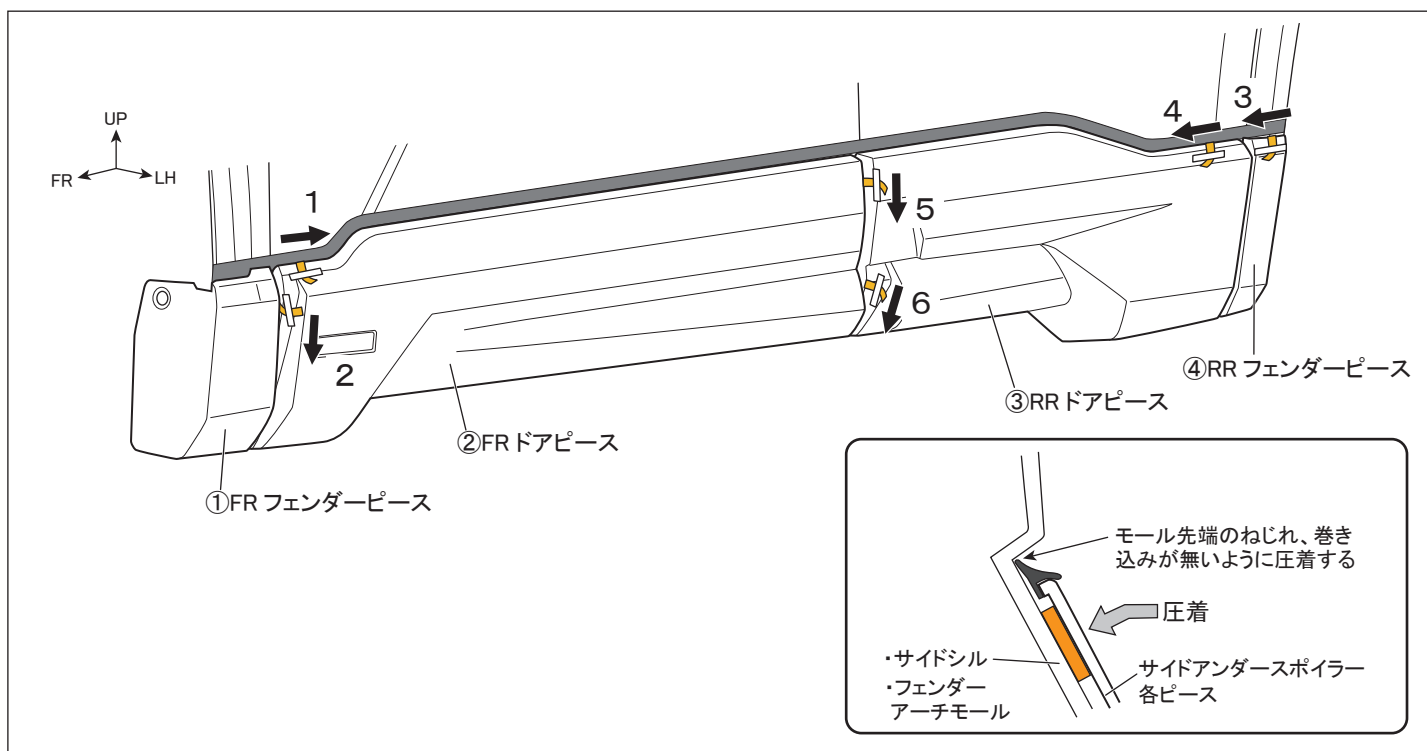
14. ②FRドアピース、③RRドアピースのモール上端をマスキングテープ下端に合わせて車両に仮当てします。
 ②FRドアピース下面前側ブラケット部を⑦ファスナーで固定し、下面後側ブラケット部を⑤トラスボルトと⑥フランジナットで仮締めします。
 ③RRドアピース下面前後ブラケット部を⑤トラスボルトと⑥フランジナットで仮締めします。



15. ④RR フェンダーピースのホイールハウス折り返し部の穴位置に合わせてフェンダーアーチモールに⑨スピードナットを差し込み、⑧タッピングスクリューで仮締めします。



16. 両面テープの離型紙を下図矢印方向に順番で引き抜きながら貼り付け面を十分に圧着します。



- ・製品を一度貼り付けてから剥がすと接着力が低下しますので、圧着後は剥がさないでください。
- ・貼り付け後、24 時間以内は洗車しないでください。

17. 仮固定した⑧タッピングスクリュー及び全ての⑤トラスボルトと⑥フランジナットを本締めします。

締め付けトルク [参考値]

⑤トラスボルト⑥フランジナット : (3.3N・m～4.3N・m)

18. マスキングテープを全て剥がします。

3. 取付け後の確認

1. 隙がないか確認します。

・ 隙がある場合は各部のボルト、ナットをゆるめて、サイドアンダースポイラーを調整し、十分に圧着したうえで、再度、ボルト、ナットを締め付けてください。

2. 各部のボルト、ナットが確実に締まっているか確認します。